発行日：令和７年１１月

（Vol.６）

第６回内山小学校と大和小学校の統合による新しい学校づくり懇談会を開催しました

日時：令和７年９月３０日（火）
　　15 時 30 分
会場：大和小学校・図書室
議題：校章案の決定について
　　通学路の安全対策について

懇談会の当日の資料や、両校の統合の取り組みにつきましては、ウェブサイトで随時内容を更新し、公開していますので、こちらの二次元コードからご覧ください。

（会議の主なやりとり）

○校章案の決定について

・第５回懇談会で選定した作品を、応募者の意向を汲みながらデジタル化するなど形を整えて、下記の校章デザインを校章案に決定しました。

・決定された校章案は、教育委員会で商標等の確認を行い、最終決定します。

校章案

校章デザインの説明と込めた思い

とりは、ちょうせんする（はばたく）といういみです。
リボンは、つながる（むすぶ）といういみです。
ハートはあいされる（なかよくなる）といういみです。

○通学路の安全対策について

・**事務局の説明：**これまでに頂いたご意見等について、警察や土木事務所等へ要望をし、実施済のもの、調整中のものについて報告。

・**頂いたご質問：**大和歩道橋は使わず、環状線より東側に居住する児童は大和小の東の交差点と都通２丁目交差点で環状線を渡るということか。

⇒**事務局の回答：**歩道橋を降りた場所が進行方向と逆向きになり、一般の歩行者や自転車との接触の危険性があることから、現通学路案では大和小の東の交差点と都通２丁目交差点の横断歩道で環状線を渡ることとしています。内山小の場所へ通う場合は歩道橋を使用しない予定ですが、大和小の場所に新校舎が建った際には、学校と検討しながらこの歩道橋を使うかどうか決めていきます。

・**頂いたご質問：**都通 2 丁目交差点の信号を渡る前のところで、かなりの人数の児童が滞留するのではないか。何人くらいとなるのか。コンビニの駐車場からの車の出入りが多いところであり、現状でも危ないと言われている。

⇒**学校の回答　：**大和小の東の交差点で 100 人くらい、都通 2 丁目交差点で 130～140 人くらいが渡ることになります。早い段階で別の横断歩道で西側に渡って分散できるといいかと考えています。

・**頂いたご質問：**都通 2 丁目交差点のところに先生が立つことはできるのか。

⇒**学校の回答　：**みやこ小では、2 人の交通指導員さんがついていただけるので、おひとりをそういった場所に配置することもいいかと思います。

⇒**事務局の回答：**通学路が変わることによるサポートも必要と考えておりますので、交通指導員さんとは別に統合校のサポートスタッフを雇用することも進めていきます。

・**確認事項：環状線を渡る交差点は、大和小の東の交差点と都通 2 丁目交差点以外にもあるので、どこで渡らせるのが一番安全か、滞留がどれだけあるかという視点も確認し、しっかり検討していきます。**

○**その他**

・**頂いたご質問：**今すごくマンションが建っている。実際に子ども達が何人入居してくるか現実に分からないと思うが、内山小に建てる仮設校舎で教室数に不足はないか。

⇒**事務局の回答：**不動産会社への聞き取りをし、販売状況も把握して、必要な教室数を判断し対応しています。今後も児童数の推移に注視し、必要な対応をとってまいります。

◆お問い合わせ先（事務局）

皆さまからのご意見やご質問を受け付けています。電子ﾒｰﾙまたはＦＡＸでお寄せください。

名古屋市教育委員会事務局総務部教育環境整備課

電子ﾒｰﾙ:a3282@kyoiku.city.nagoya.lg.jp / TEL:052-972-3282 / FAX:052-972-4176